

第 4 回福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時：平成 26 年 2 月 27 日（木）14：15～17：15

場所：富岡町教育委員会 会議室（郡山市桑野 2-1-1）

2 委員

別紙の通り

3 会議の概要

(1) ワーキンググループ検討結果報告について

- ① 「ふるさと創造学」で育てる資質能力について説明があり、アクティブラーニングの手法で教育課程として総合的な時間において実施することが提案された。郡内の小・中学校では平成 26 年度から各学校の実情に沿って実施すること、高校では前向きに検討することが確認された。また、平成 26 年度の秋頃に学習の成果を発表する機会を設けるため、児童・生徒会サミットを実施したり、双葉ワールドに積極的に参加することの提案があった。
- ② 地域と学校をつなぎ、人材育成と地域復興の相乗効果を創出するため、中高一貫校に併設する社会教育施設として、双葉郡の老若男女が集う場としての第二の公民館の機能も果たす参加型ミュージアムの必要性や学校支援組織としての双葉郡教育復興事務局（仮称）の設置など、教育復興支援体制についての報告があった。
- ③ 各町村の学習支援等の実施状況や学童保育・児童館等の設置状況が示された。学習支援に関しては各町村間で実施形態や予算、参加人数などバラつきがあるので郡全体としての取り組みや町村間の連携など、絆づくりと関連させた取り組みの必要性について確認された。

(2) 双葉郡子供未来会議実施報告について

- 1 月 24 日に開催された教職員を対象にした子供未来会議では、「この状況は双葉郡にとってチャンスである」「夢や希望を語ることは楽しい」など前向きな感想が寄せられ、具体的な教育課程等について積極的な意見交換があり、教職員研修としての効果もあったことが報告された。今後も現場の教職員の参画による取組の推進が必要であると確認された。
- 2 月 19 日に開催された双葉郡の子供たちを対象にした子供未来会議では、平日の 3 時間の開催であったが、ふるさとを思う心などが素直に出されていた。一方で新設の中学校と既存の中学校の間での選択への不安の声もあった。
- 次回（第 7 回）の双葉郡子供未来会議については、3 月 27 日（木）に開催されることが了承され、平成 26 年度の実施に関しては、ステップアップする方向性が提示された。

(3) 中高一貫校の設置検討状況について

- 県教委からは、中高一貫校に関する検討協議会（第 2 回）の報告があり、現段階での教育課程についての説明があった。双葉地区教育長会からは、中高一貫校における併設中学校について（回答）の説明があった。
- 協議の場では、魅力あるネーミングや創造性に富んだ教育内容についての要望、できるだけ早期の併設中学校の設置の要望などが各委員から出された。魅力ある中高一貫校を作るためにも膝を突き合わせた意見交換の場を設けていくことが確認された。

(4) 今後のスケジュールについて

- 教職員研修は、3月8日(土)開催の「福島教育復興へ向けてⅢ」を皮切りに3月中に可能な限り研修会を開き、5～6月に全体研修会を開催することが提案され了承された。

(5) その他

- 事務局から、双葉郡教育復興ビジョン推進協議会としての情報発信について、ホームページからの情報発信と、冊子を通じた子供未来会議についての情報発信を行いたい旨を提案し、了承された。
- 武内会長から、今までの協議をもとに県や国へ要望活動を行いたいこと、事務局を強化するために今後法人化することを検討したいこと、の2点が提案され、了承された。